

全国保育問題研究協議会
第28回夏季セミナー

美術を通して乳幼児期の子どもたちに育てたいもの

第28回夏季セミナーは、「美術を通して乳幼児期の子どもたちに育てたいもの」をテーマに開催されます。「美術」をテーマに夏季セミナーが開催されるのは2000年以来、約10年ぶりのことです。

この間、全国保問研集会「認識と表現—美術」分科会には、全国各地から多様な描画・造形活動の実践が提案されてきました。毎年、活発な議論が行われてきましたが、ここであらためて理論的、実践的な到達点と課題について総括したいと思います。

また、この10年で、子どもたちの生活や保育を取り巻く状況は大きく変わりました。社会的・経済的格差が拡大し「子どもの貧困」が深刻化するなか、子どもたちを守るべきはずの保育条件は「規制緩和」の名の下に切り下げられ、「子ども・子育て新システム」では保育制度そのものが根底から崩されようとしています。

今年の夏季セミナーでは、基調提案、実践報告、分散会を通して、「現代の子どもたちにとって豊かな生活とは何か？」を問い直しながら、子どもたちに豊かな生活や発達を保障する上で「美術活動が果たすべき役割」について考えます。また、参加者のみなさんにも玩具や教材づくりを楽しんでもらおうと各地域保問研の協力を得て、実技屋台村、も準備しました。

京都の暑い夏、みんなで熱く語り合い、そして、楽しく学び合いましょう。

全国各地からのご参加を心よりお待ちしております。

2011年8月27日(土) 13:00～18:30

28日(日) 9:00～13:00

京都教育大学藤森キャンパスにて

京都市伏見区深草藤森町1番地

(JR奈良線 藤森駅下車徒歩3分／京阪本線 墨染駅下車徒歩7分)

参加費 6,500円(学生3,500円)

定員 200名

申込締切日 2011年8月18日(木)

▶ 第1日目 8月27日(土)

- | | | | |
|--------------------------|------|---------------|---------------|
| <input type="checkbox"/> | 受付 | | 12:00 |
| <input type="checkbox"/> | 挨拶 | 代表 鈴木 牧夫 | 13:00 |
| <input type="checkbox"/> | 基調提案 | 平沼 博将 (広島保問研) | 13:10 |
| <input type="checkbox"/> | 実践報告 | | 13:30 ~ 16:20 |

描くことの土台をつくり出す0歳児 吉川 恵子 (広島保問研)

私たちは「0歳児時代」を“描くことの土台を耕す時期”と捉え大切に育んでいます。心を開放して表現を楽しめる子どもたちになるよう全身をたっぷり使ってあそびこみ、子ども自身が達成感をいっぱい持てるような描画造形活動を取り組んできました。何にでも興味津々で保育士の投げかけることに期待を持ってむかう子どもたちに育ったのは担任間で素材・環境などその都度よく話しをしながら新鮮に取り組めた事も大きな要因だと思っています。またみんなでぬたくり・描画をすすめる中で“楽しい!”と共感しつつ子どもどうしをつなげる働きかけも意図的にしてきました。ワクワクするような活動の内容や大切にしてきたことを開発してきた素材とともに紹介します。

4歳児クラスで取り組む絵日記 太村 美恵子 (大阪保問研)

2年前2園が統合。今年度、3歳児3クラスを4歳児2クラスに編成し直し、そのうち1クラスを他園より異動してきた私が担任することに。お互い大きな環境の変化の中で、子どもたちに寄り添い大事にしてきたのは「絵」でのつながり。「嫌やー」「後で」と描きたがらない子どもたちでしたが、“描きたい、伝えたい”と思えるように、「生活に根ざした表現活動を大事にしていこう」と絵日記に取り組み、その時々の子どもの思いを集団に返していく事で、伝える喜びが育ち、楽しみな活動になっていきました。共感や認め合う力も育ちつつある4歳児の生活と表現(描くこと、おはなしすること)をつないだ絵日記の活動を中心とした報告です。

色との出会いと発見を 脇 志津子 (京都保問研)

1歳児クラスの子子ども達が”ジージー描き”を楽しむ時にクレパスやマーカーを用意すると、「ピンクほしい」「あお」と自分の好きな色や気になる色を要求しています。また友達が隣で描いている絵具の”ジージー描き”を見て「きれい」と言っていた1歳児の姿もありました。年長児になると、絵の具を混ぜ合わせて自分の思い通りの色を作ったり、重ね塗りをして絵を仕上げている姿が見られます。

人間の世界は色とは切り離せない生活をしています。乳幼児期からの色彩との楽しい出会いや発見を考える時に、私たち保育士が「責任」を持って子ども達に色を与えることで、その領域と可能性を広げていきます。

では、私達はどのようにして色彩に「責任」をもちながら子ども達の色との出会い・発見を展開していけばよいのでしょうか。乳幼児期の描画・造形活動から子ども達の色による表現にスポットをあてて、保育の展開を考えていきたいと思えます

本物の大きさのじんべえざめを描く

青山 均 (愛知保問研)

7年ほど前の取り組みです。異年齢保育を始めて4年目の実践で、仲間に信頼されているのに、もう一つ自信がないこうすけと言う5歳児がいました。5歳児だからと時々はびっくりするくらい優しいのに、ある時はとても意地悪としか思えない姿になります。そんな彼と一緒に釣りに行ったことがありました。余程楽しかったのでしょう。素晴らしい魚の絵を描いて持ってきて見せてくれました。そこから、7か月に及ぶ取り組みが始まったのです。楽しい取り組みの中で、彼が変わるとともに、周りの子ども達も変わっていった共同画の取り組みです。

イメージの世界の共有と表現活動

東京保問研美術部会

幼児期になると言葉による思いの伝えあいとともに、表現による伝えあいも生まれてきます。例えば「今までみたことのない鬼を考える」というテーマで話し合い、表現しあいながら、「新しい鬼」が生まれたり、お泊まり会であらわれた「魔女」をテーマに、絵による表現でもりあがったりと、子どもたちの中でつくられた空想をひとりひとりが表現し、それをみんなで見あうことで、さらにイメージが広がり共有しあえるという活動が生まれています。

空想の世界がどのように子どもたちの中で表現につながっていくのか、またそのことにより表現する楽しさがどのように広がっていくのか、いくつかの実践を提案し考えあいたいと思います。

□ 分散会 (基調提案・実践報告を受けての討論)

16:40 ~ 18:10

▶ 第2日目 8月28日(日)

□ みんなでつくってあぞぼう! 実技屋台村

9:00 ~ 10:30

広島保問研より 蚊取り線香の入れ物を使った「廃品 DE ティッシュケース」

大阪保問研より 折り紙で作る「万華鏡」

京都保問研より トランスペーパーでつくる「ステンドグラス風飾り」

愛知保問研より ボンドで作る「ケーキ」

東京保問研より トイレットペーパーの芯を使った「ブンブンごま」

*他にもたくさんの『手づくりコーナー』を各地保問研が準備しています。

(内容には、一部変更があるかもしれません。)

*材料の数や時間に限りがありますが、実際に自分でつくって楽しみましょう。

*はさみをご持参ください。

□ 全体討論

11:00 ~ 12:30

□ まとめ 田中 義和 (愛知保問研)

12:30

□ 終了

13:00

▶ 申し込み方法

- 参加費 6,500 円 (学生 3,500 円)
- 宿泊費 宿泊は、各自でご手配ください。
- 申込方法 (☆ 昨年までの申し込み方法から変更があります。)

- ① 下記のメールにて、お名前と連絡先電話番号を記入して「申し込み」をしてください。
(複数人の場合は人数を必ず明記してください。)
- ② 1 週間以内に、「申し込み番号」と郵便振替番号と記入していただきたい内容を返信します。(定員を超えた場合はその旨連絡させていただきます。)
- ③ 郵便振替に記入の上、「送金手続き」をしてください。
申し込み番号のないまま送金していただいても受け付けることができません。
- ④ 「申し込み」は FAX でも受け付けますが、携帯電話からでも可能ですので、できる限りメールでの「申し込み」にご協力ください。

◎ 申し込みメール info@zenhomon.jp

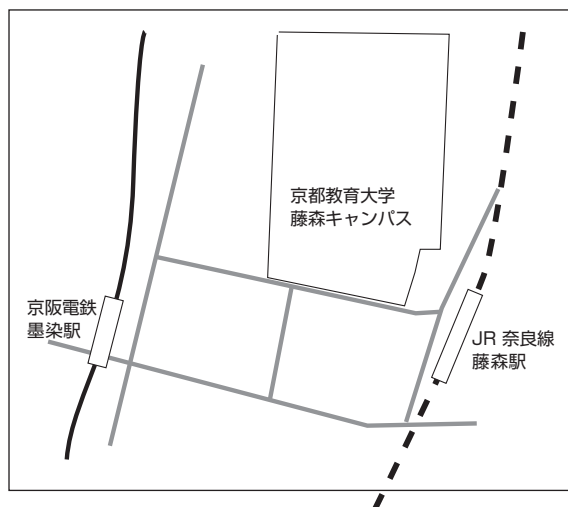
◎ 申し込み FAX 03 - 5814 - 9087

- 会場案内 京都教育大学
藤森キャンパス

京都府伏見区深草藤森町 1 番地

『JR 奈良線 藤森駅下車』 徒歩 3 分

『京阪本線 墨染駅』 徒歩 7 分



- お問い合わせ等は、FAX またはメールにてお願いします。

全国保育問題研究協議会 FAX/TEL 03-3818-8026 (申し込みは上記の FAX でお願いします)

メール info@zenhomon.jp